

(1) 令和4年度決算見込み

水道事業

令和4年度決算 水道事業収益的収支

費用
2,311百万円

収益
2,497百万円

施設の電気代
305百万円
前年度比
84百万円の増

水を浄水する費用 480百万円	水道料金 2,052百万円
水を配水する費用 382百万円	
事務費	
減価償却費 1,070百万円	補助金等
利益 185百万円	その他

国の新型コロナウイルス感染症対応臨時交付金を活用した一般会計からの電力価格高騰に対する補助
108百万円

令和4年度決算 水道事業資本的収支

支出
1,824百万円

収入
650百万円



積立金や
内部留保資金で補てん

栃木市水道事業 令和4年度決算の状況は・・・

収益的収支の利益が 1.8億円
内部留保資金が 8.9億円（減価償却費に充てられた現金）
計 10.7億円

資本的収支は △11.7億円

1億円の資金が減っている！

◎利益が出ているから経営が順調と判断するのは危険！

令和4年度決算 経営指標

供給単価（水量1m³あたりの販売単価）

H30	R1	R2	R3	R4
135.3円	131.1円	127.4円	127.9円	128.6円

給水原価（水量1m³あたりの製造単価）

H30	R1	R2	R3	R4
119.0円	118.4円	119.5円	123.9円	130.2円

電気代等の上昇により**原価 > 売価**となりました